



立教大学校友会

<https://rikkyo.yokohama>

横浜立教会 会報

2022年(春)

発行人：大橋 英五

編集人：楠本 健司

横浜立教会発行

会員の皆さん大変ごぶさたしております。長引くコロナ禍、皆様、いかがお過ごしでしょうか？

横浜立教会 70 周年記念イベントをはじめ、総会、クリスマス会など、すべて中止となり、各種クラブ活動も自粛して、会としての活動がほとんどできませんでした。そんな中で、皆様のご協力で、なんとか 70 周年記念誌は発行できました。これからも、長引くでしょうコロナ禍で、皆様との絆をさらに深めるべく、しばらく休刊していた会報を、改めて発刊することとなりました。今後も継続していく予定です。皆様のご協力、ご意見、ご投稿をよろしくお願い致します。

私の趣味

今号から会員の皆さんの趣味をご紹介しますことにしました。この方がこんな趣味・特技をと感心し、驚かれることも多いことでしょう。第1回目は、木工を始めて 40 年以上になるという当会の大橋英五会長（元総長）にお話ししていただくことになりました。木工の作品を紹介した著書も出されています。会員の皆さんにはいろいろな趣味をお持ちの方がいらっしゃるでしょう。自薦や推薦を含めて編集委員までご一報ください。本欄で取り上げさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

大橋 英五 1966年(昭和41年)経済学部経済学科卒



—どんなきっかけで始められたのですか？

小さな工作を作るようになったのは、子供たちがまだ幼い頃に、小さな犬、車などを作ってあげたのが始まりです。

子供たちは小さなバッグに入れてどこに行くにも持ち歩いてくれました。そんなことがあって、作品を皆さんにも差し上げて楽しんでいただくようになりました。

家族、友人、学生さんなどにも、小さな作品を差し上げてきました。ゼミの学生さんには卒業のお祝いに立教のマークの入った木時計（金ではない）を差し上げてきました。

皆さん、とても大事にしてくれています。作ることに、それを大切にもらえることは、とても楽しいことです。



小さな犬や車

—マッチ箱に入る作品も作られていますね。

私の作るものは、そんなに時間をかけずに作れるものがほとんどです。従って小さなものがほとんどなのです。

そして小さな工作を見ながら「あ〜そうだ！これをマッチ箱に入れよう」と思いました。マッチ箱は 5.5cm×3.5cm×1.5cm の大きさです。子供の頃から慣れ親しんだ大きさです。マッチ箱に入った作品がたくさんになって、一冊の本が完成しました。『ちいさな宝もの』唯学書房(2014年)です。工作を作っていると一つ一つが私自身であるような気さえます。その分身が私から離れて、自由にふるまって役割を果たしてくれているような気がします。



マッチ箱に入った作品

一仕上げるまでの工程は大変ですか？

工作を始める前に、「誰にあげようかな」「どんな材料で作ろうかな」「何を作ろうかな」と考えます。このふしのある枝で、犬を作って誰にあげようか。こっこの綺麗な材料は…といった具合です。そのことが決まると、具体的にどういう風にするかを考えます。この過程は、論文を書くのと似ています。資料を集めて、分析して、分かりやすく伝えることです。工作を作りながら差し上げる時のその人の笑顔が浮かびます。



トラック・スポーツカー・乗用車

一作った作品はどうされているのですか？

私の木工にはたくさんの方の木工ファンがいます。木工ファンは家族から友人、知人、学生さん、校友…へと広がっていきました。また、長期入院の子供たちを支援されている NPO 法人をとおして子供たちにプレゼントしています。子供たちにはタケコプター、車輪のついたドラえもん、5cm くらいのトラック、スポーツカーなどを作っています。子供たちはとても喜んでくれます。

さらに校友の皆さんにも、作品を作りました。

それは写真のマウスパッドです。高さ 5cm くらいの池袋キャンパスの建物を作って、マウスパッドにしました。またモリス館のストラップも学生さんや校友の皆さんに差し上げています。手ごろな大きさで、懐かしい風景を思い出してもらい、皆さんに楽しんでいただいています。きっと、これらの作品をとおして、私の思い出と皆さんの思い出に共通なものがある感性を共有できるでしょう。

マウスパッド



一横浜立教会の皆さんへ

横浜立教会は、設立 70 年を迎えました。また立教大学の池袋キャンパスは 100 周年になります。この 100 年間は、日本の社会にとっても大変な時期でした。この間、立教大学の卒業生は年代が違っても立教大学で、同じキャンパスで、同じ街で過ごしてきました。それは、そこでの出来事を共有してきたということです。立教での教育、文化を共有してきました。そのことは私の小さな工作への校友の皆さんの対応からもよくわかります。

ある時代での立教の文化は次の時代の文化に継承され、その文化はさらに未来へと継承されます。立教での人を思いやる優しい心、誠実に生きることの大切さといった考えのなかで過ごしてきたのです。

近年、コロナ禍のもとで、横浜立教会の活動が制限されざるをえない状況にはありますが、長い視点で、着実にゆったりと活動を進めていくことが大切です。立教の文化を継承してゆきましょう。



ストラップ



立教キャンパス ミニチュア 木工

趣味の著書

『木と遊ぶ』 柘植書房新書、2000 年

『ちょっとした話し』 唯学書房、2004 年

『森の王様』 フマユン・アーメド著、人形制作、唯学書房、2012 年

『ちいさな宝もの』 唯学書房、2014 年

新会員の方々です。

新会員の紹介

土元幸一郎 1990年(平成2年)経済学部経済学科卒
北迫照喜 2000年(平成12年)法学部法学科卒
堂面洋平 2002年(平成14年)理学部物理学科卒
西山優一郎 2007年(平成19年)経済学部経済学科卒

清治善光 1987年(昭和62年)経済学部経営学科卒

・**学生時代**にサークルはスポーツ愛好会、ゼミは横浜立教会会長・大橋英五先生の経営分析に所属しました。アルバイトは家庭教師、大学入試の事務スタッフから居酒屋ホールスタッフ、パチンコ店の両替等、幅広く、様々な経験をしました。

・**卒業後**は新卒で株式会社リクルートに入社し、その後2社を経て3年程前から妻の父が東神奈川で創業したオーダーカーテンを中心としたインテリア施工販売の株式会社ヴィフインテリアに勤務し、営業から施工まで幅広く担当しています。

住まいは東京都北区から横浜市鶴見区矢向に引っ越して25年、すっかり横浜市民になりました。妻、息子、娘の4人家族。息子は一昨年、娘も昨年、社会人となり、子育てはひと段落です。



趣味は、ランニングとスポーツ観戦。13年前からダイエット・健康のためランニングを始め、フルマラソンも横浜マラソン等8回走りました。スポーツ観戦は野球、サッカー、ラグビー、アメフト、大相撲等オールラウンドに。

・**会に対して**ですが、横浜で生まれ育った息子も2020年に立教大学を卒業し、私自身も横浜勤務になったこともあり、同じ横浜で居住、活動されている母校の皆さんと繋がり、交流する機会を創っていきたいです。



飯島 清仁 1990年(平成2年) 法学部法学科卒

・**学生時代**は体育会アメリカンフットボール部に所属しておりました。自宅が川崎市にあるため、自宅→学校(池袋)→富士見グラウンドの行き来に明け暮れる生活をしておりました。学内の滞在時間は非常に短く、池袋校内での思い出という第一食堂のカツ丼ぐらいしかない(笑)という典型的な体育会学生でした。

今頃になって、もっと色々勉強しておけば良かったと後悔しております。それでも一応法学部ですので、試験勉強はそれなりに頑張っていたと思います。法律に触れた経験が今の職業に多少はプラスになっているのではないかと思います。

・**現在**は横浜西口に本社のある不動産会社「株式会社テンポアップ」にて主に商業不動産の賃貸、売買に携わっております。皆様が街でよく見かけるナショナルチェーンからこだわりの個人商店まで商業テナントであれば何でも取り扱っております。

・**趣味**としては、昔から色々やっておりますが主なものとして

- ・車関係(ドライブ、車鑑賞?!、レース観戦)
- ・釣り(沖釣り、溪流)エサ釣りからルアー、フライまでなんでもやります
- ・ゴルフ 真剣に始めて2年ほどですが最近は主な活動になってます。腕前は100を行ったり来たりといったところですが、飽きずに続けていくのではと思います。
- ・**会への希望**は特にありませんが、先輩方からの貴重なお話や、若い後輩方からの新鮮な話など世代を超えて繋がっていける、そんな会であつたらいいなと思っております。横浜立教会ゴルフ部幹事として(まだ何もしてませんが・・・)ゴルフ活動を通して少しでもお役に立てればと思います。

*ゴルフコンペに参加してみたいという方は私までご連絡ください!



新会員の紹介

片岡 契 1997年(平成9年)経済学部経営学科卒

・学生時代は、「ニッポン放送」でのアルバイトに情熱を燃やしていました。学生ADとしてプロ野球中継に携わり、池袋から「有楽町のスタジオ」「東京ドーム」「横浜スタジアム」等へ向かうのが定番。

絶対に誤報を出せない生放送の緊張感等、放送業務の厳しさとやりがいを肌で知り学ぶことが出来ました。

「放送の仕事は自分に向いている!」。自信が確信に変わっていく日々でした。

・会社は、「TBSラジオ」に勤務。営業部長として、企業や団体から広告費を頂き一社提供冠番組やコマーシャルの制作・放送をしています。

営業に力を入れている番組が「地方創生プログラム・ONE—J」。経産省の後援を得て、地方創生を目指し毎週日曜日に放送中です。

・この番組を契機に個人でも地方や地域の活性化に貢献しようと思い立ち、「地方創生」をテーマにInstagramを始めました。

「生まれ故郷の横浜市栄区」や「第二のふるさと福島県(前職は福島のテレビ局。県内に7年間在住)」の写真がメインです。栄区、福島いずれも東京一極集中や人口減少の影響を色濃く受けています。

今後の人生をかけ、活性化に貢献することを自分自身にコミットしています。



横山 未希 2009年(平成21年)文学部キリスト教学科卒



学生時代は国際交流サークルにゆるめに所属しながら、キリスト教学科の先輩後輩、教授の親交を深めました。中高もキリスト教系の学校に通っていたこともあり、以前から関心のあった分野を学問的に深めることができたのは、とても有意義な時間でした。

現在は、ジャズシンガーとして首都圏を中心にライブ活動、ボーカル講師として活動しています。1年程前にアメリカ ニューヨークから帰国したばかりで、日本、また都内中心の生活も久しぶりです(しかもコロナ禍!)

2016年にジャズボーカルの修行のために渡米して以来、5年弱ニューヨークに住みました。たくさんのご縁があり、ニューヨークでも素晴らしい音楽家とライブをしたり、レッスンに通ったりしながらあっという間の5年間でした。また、その間はニューヨーク立教会に所属し、少人数だったこともあり、幹事会の一人として立教会の運営にも携わらせていただきました。地元は群馬県で、その時は高崎立教会におりましたので、こちらで3つ目の立教会です!

横浜立教会の皆さまにお会いできることを心から楽しみにしております。よろしくお願いたします^^

<https://www.mikiyokoyamajazz.com/>



聴いてきました

横山未希さんのライブ聴いてきました。But not for me、Fly me to the moon、Take fiveなど、ジャズのスタンダードナンバーを、ある曲は可愛らしく、また、ある曲はスキヤットを交え大人っぽく、12曲ほど楽しんできました。



この日は、いわゆるライブハウスではなく、あざみ野のレストラン、&you「アンジュ」でのピアノとのデュオでした。美味しい山形牛のハンバーグとジャズヴォーカルを同時に味わいました。ライブハウスの他に、月一度、土曜日、こちらでレストランライブするそうです。詳しくは、横山未希さんのホームページで。

「聴く会」担当幹事 楠本健司

クラブ活動の紹介

「歩こう会」 江戸の二大庭園の一つ「六義園」を散策しました

令和3年12月3日（金）は新型コロナウイルスの第5波が落ち着き、まるで「日常生活が戻って来た」と思わせる穏やかな日でした。

JR駒込駅を降り、ビルの谷間を7,8分歩くと「六義園」正門に着きました。内庭大門を潜ると大きな「しだれ桜」があり、さらに進むと、急に景色が開け、目の前に大きな池と、対岸の島がひろがりしました。そして柳沢吉保の文学的造詣を反映し、和歌に詠まれた名勝の景観が名付けられた樹林の中を 鳥の声や、水のせせらぎを聞き、モミジ、カエデ、ハゼ、イチョウなどの写真を撮りながら ゆったり散策しました。 出口付近で茶屋により 池を眺めて和菓子と抹茶をいただき休憩をとると、この広い庭園が都会のビルに囲まれているのを忘れ、江戸時代にタイムスリップしたかのようでした。

歩こう会幹事 矢島和代



「ゴルフ会」

ゴルフ会では5月20日（金）、春真ただ中にある千葉県房総カントリークラブにて、今年度第1回目となるゴルフコンペを開催します。ホームページ等で募集したところ、会員だけではなく広くOB、OGの参加申し込みがあり、5組でのスタートを予定しているところです。この間コロナ禍により中断を余儀なくされてきましたが、今後は定期的にコンペを開催し、親睦を深めてまいります。

横浜立教会の会員のみならず、立教生OB、OGの方々を広く募集しておりますので、ぜひご参加の意向をお知らせいただけると幸いです。

ゴルフ会幹事 飯島清仁



「ぶらり博物館・美術館」

コロナ禍で中止していましたが、市内の博物館や美術館巡りを再開します。従来通り、学芸員による解説を聞いて展示品を鑑賞していきます。ちなみに県立歴史博物館の本年度の企画展は次の通りです。

- ・洞窟遺跡を掘る一海蝕洞窟の考古学—2022年4月29日～6月26日 三浦半島に残された弥生時代から古墳時代の遺跡を紹介します。
- ・地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—7月16日～9月25日 近現代に焦点を当て、地図を作り、使う人たちの活動を紹介します。
- ・源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人—10月15日～12月4日 永福寺とは鎌倉幕府にとっていかなる存在だったのかを解き明かします。
- ・松平造酒助江戸在勤日記—武士の絵日記—2023年2月18日～4月9日 上級武士の絵日記に記されたその生活と江戸の様相を紹介します。



行きたいと思っけていてもつい見逃してしまうことが多いでしょう。この機会にぜひ参加してみませんか。HPでご紹介する他、HPでご登録を受け付けています。

ぶらり博物館・美術館幹事 木村欣照

クラブ活動に参加をご希望される方は、横浜立教会のHPからご登録できます。HPから「横浜立教会活動内容」を開き、「同好会活動」参加申し込みメールアドレスにてご登録ください。担当幹事から行事のご案内をします。

会員のお店紹介

日本料理の店 北浜

北迫照喜

法学部法学科の2000年（平成12年）卒です。

中学校から立教に通っていました。高校の時に新座まで時間かけて通ったのはすごく思い出深いです。大学ではロイヤルパークホテルで日本料理の勉強をしていて、2年生からはあまり学校にいけなかったです。なんとか卒業はできましたが（笑）。

現在は、家業を継ぎ、横浜駅の相鉄ジョイナスにて80年続く日本料理店を運営しています。1000円前後の定食や御膳もの、日本酒を豊富にそろえております。而今や田酒などの珍しい日本酒は特に人気ですね！また、店の制服を着物にしているので、最近では着物に興味ある女子大生も立教生も多く、着方を教えて一緒に働いています！日本酒、着物が好きな方はぜひ♪



僕自身の趣味は、旅行と観光です。全国のホテルやおいしい料理・お酒を求めて各地を旅しています！

最近はコロナもありあまり行けていません。横浜立教会の新会員となりましたが、中学校から立教なので、同窓生の皆さんには、ご来店いただいた際、ぜひお声をかけていただけましたら幸いです！



「神奈川県校友の集い」のご案内

校友会主催による神奈川県校友の集いが5年ぶりに7月16日(土)、海の立教会(逗子葉山、湘南、平塚、横須賀各立教会)の担当により、みなとみらいのパシフィコ横浜会議センターで開催されます。今回は、ジャーナリストの池上彰氏(立教大学客員教授)の講演と懇親会を予定しております。県在住の校友に立教大学校友会から案内状が送付されます。横浜立教会としても積極的に取り組んでまいりますので、多数の校友の参加を期待しております。

「立教スポーツを応援しよう」

東京六大学野球5年ぶり優勝、そして日本一、「箱根伝」復活出場など、立教スポーツを応援しましょう。神宮の森へは、春秋、毎シーズン応援に行ってます。また、2024年の創立150周年記念事業としての「立教箱根駅伝2024」に向けて、1968年以来の箱根路復活出場を応援しましょう。1934年初出場し通算27回の出場を誇ります。最高3位です。

立教スポーツを応援する会幹事 中山 裕



斉藤選手



会報編集後記

新型コロナウイルスによる感染の拡大が続き、社会活動に大きな影響を与えていますが、当会も2年間にわたってほぼ活動の停止を余儀なくされています。こうした中、「70周年記念誌」の発行を機に、会員の交流の場が欲しいとの声が寄せられていることから、「会報」を場の一つとして活用することにしました。当面、年2回(春・秋)の発行を予定し、今回春号をお届けすることになりました。会員同士の交流と理解に少しでもお役に立つことができれば幸いです。ご意見もぜひお寄せください。

編集委員一同